

**(新) エコタウン等を核とした地域循環圏の形成推進事業**

16百万円( 0百万円)

廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室

1. 事業の概要

平成20年3月に閣議決定された第2次循環型社会形成推進基本計画では、地域循環圏を踏まえた循環型社会づくりにエコタウン等の活用が期待されている。また、5月には10年ぶりに中国国家主席が来日し、日中首脳会談において環境関連の技術協力が議題に上がり、日本の自治体との循環型都市協力についての発言もあった中、エコタウン等の成果と課題を再確認し、世界にそのノウハウを発信していくことが重要である。

そこで、今までエコタウン等が培ってきた効率的な資源循環の事例を整理、分析し、そのノウハウをガイドラインにまとめ、国内、海外におけるそれぞれの地域の特性に応じた地域循環圏の構築に活用する。

さらに、エコタウン等をつなぎ地域の連携を推進するコーディネーターとなりうる人材を発掘し、ネットワークをつくる活動を支援する。

2. 事業計画

有識者による地域循環圏形成推進検討会を設置し、全国のエコタウン等の調査データを整理し、成功事例や課題の分析を行い資源循環を進めるための方策や連携のモデルパターンなどを検討し、必要なノウハウをガイドラインにまとめる。

また、地域循環の連携を推進するコーディネーターとなりうる人材について情報収集し、成功事例の説明会を全国各地で開催することで、エコタウン等を核とした地域循環圏のネットワークの構築を進める。

3. 施策の効果

エコタウン等が培ってきた成功事例のノウハウを適切に伝えるためのツールとしてのガイドラインを作成する。エコタウン等の施設を核としたネットワークを構築し、地域において情報等を共有しながら資源循環の推進を図る。

4. 備考

エコタウン等を核とした地域循環圏の形成推進事業 16百万円

(目) 職員旅費

(目) 環境保全調査費(民間事業者に対する請負事業により実施予定)

# エコタウン等を核とした地域循環圏の形成推進事業

背景

第2次循環型社会形成推進基本計画  
日中首脳会談

日本の技術の世界へ

エコタウン等の成功事例や課題

検討会を設置し既存のエコタウン等の施設データを分析し成功のノウハウや課題を抽出

ガイドラインの作成

効率的な資源循環の事例を整理し連携のモデルパターンを取りまとめ

資源循環のツールとして活用

地域連携を推進するコーディネーターとなる人材を発掘しネットワークをつくる活動を支援

中国

世界へ発信

東南アジア

Aエコタウン

国内の連携へ

Bエコタウン

Cエコタウン